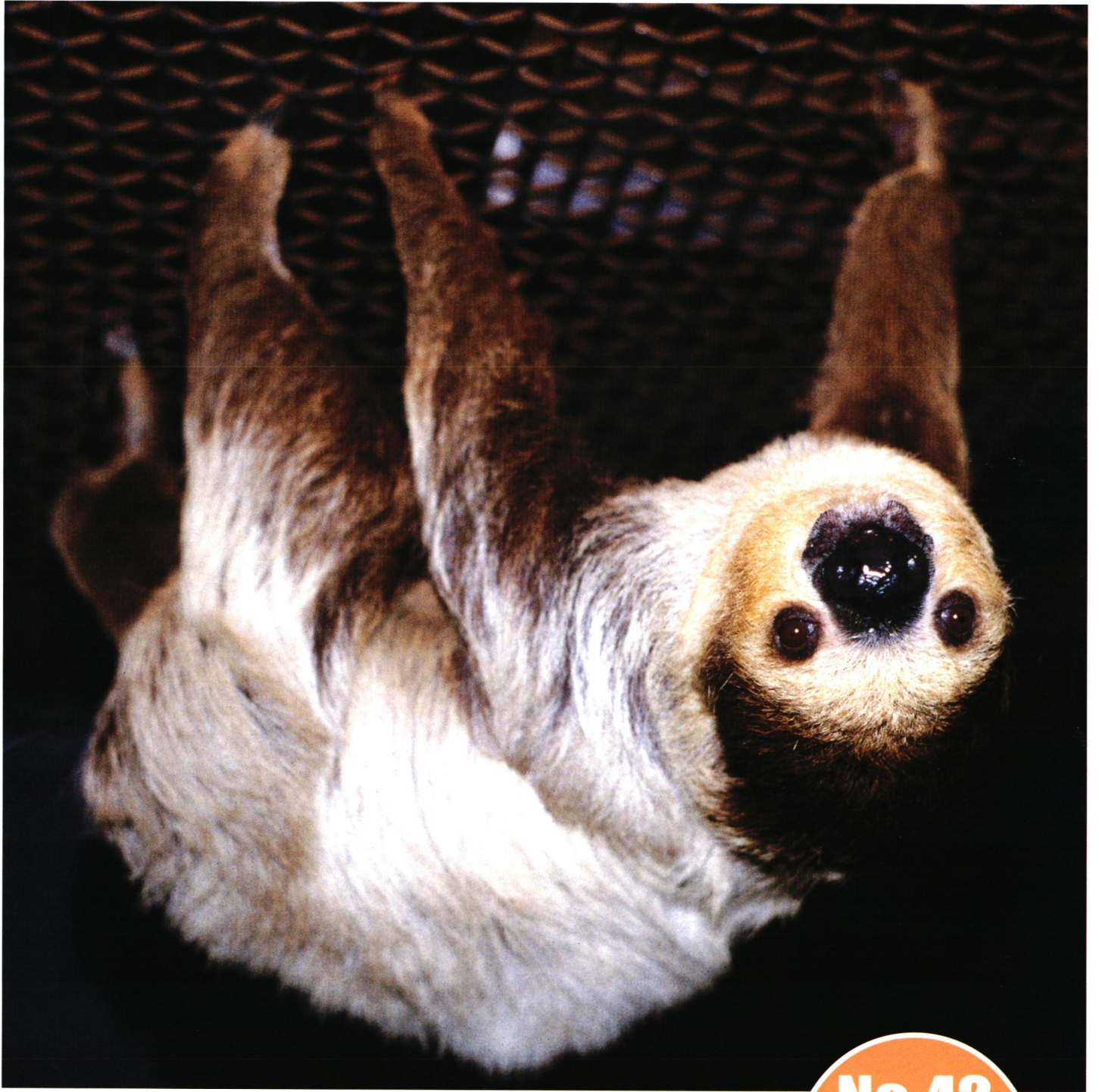


どうぶつこうえんニュース



No.42

2001

冬



千葉市動物公園
Chiba Zoological Park

Topics

トピックス ウ

マ (奇蹄目・ウマ科)

来年は十二支の午年ですのでウマの話をちょっとしたいと思います。



ウマはサイの仲間やバクの仲間と共に奇蹄目のグループに入っています。ウマのとても近い仲間にはロバやシマウマがいます。ウマと人間の出会い（家畜化）は五千年以上も前に世界の各地で始まったと考えられています。最初は食料として利用されたと考えられていますが、彼らの乗り心地の良さ（他の動物に比べて）や、あやつりやすさ（ウマは前歯と奥歯の間があり、

そこに「はみ」を噛ませて操作します）から乗ったり、物を引かせたりすることに使われてきました。ここからウマの悲劇と発展の歴史の始まりです。このことによりウマは古くから戦争に利用され命を落としましたが、また多くの新しい品種も生まれ、たくさん飼われました。その後、輸送手段が機械化されその必要性は少なくなりましたが、ペットやスポーツ乗馬としてまたアニマルセラピーの一員として世界で数多くのウマが飼われています。

日本でも古くから飼われ、平安時代には「牧」と呼ばれる牧場のような物があったり、江戸時代の東北地方には「曲がり家」と呼ばれる人とウマと一緒に住むL字型をした家がありました。かまどや囲炉裏の熱がウマの部屋を暖め、ウマの部屋は敷きワラやフンを換えず新しいワラを足し発酵させ、春にそれを肥料として利用しました。日本にも人とウマの良い関係があったのですが、第二次世界大戦以降機械化の波に押されその数は激減し、今では競馬場や動物園でしか見ることが出来なくなっています。

千葉市動物公園ではウマの仲間の7種類のうち5種類を見ることが出来ます。午年の来年は動物公園のウマたちに会いに来てみてはいかがでしょうか？

濱田 昌平 (Shouhei Hamada)

目次

CONTENTS

表紙【フタユビナマケモノ】	①
トピックス【ウマ】	②
特集【写真コンクール】	③
どうぶつクロスワード	④
どうぶつクイズ	⑤
動物公園の植物【ヤマボウシ】	⑥
飼育管理センターから	⑥
動物公園日誌から【'01.9/1〜'01.11/30】	⑦
編集後記	⑦
裏表紙【アカハナグマ】	⑧

表紙の動物説明 フタユビナマケモノ

ニカラグア、コロンビア、ベネズエラ、ブラジルなどの南アメリカの広い範囲に生息しています。樹上で木の葉を食べる生活に適応するため特殊化し、枝にぶら下がるのに便利な前後のあしの形と鉤爪、体の大きさの割りに軽い体重、木の葉を消化するための大きくびれた胃などの特徴を持っています。また、その名の由来ともなった非常にゆっくりとした動作と、藻類が繁茂した体毛は、樹上では捕食者から身を守るのに役立っています。

当園では、以前、ミツユビナマケモノも飼育していましたが、フタユビナマケモノよりも葉食性が強く、飼育は難しいようです。

秦 舜二 (Shunji Hata)

動物飼育数

平成13年11月末現在の飼育数

Classified number of animals
as of 30, Nov. 2001

哺乳類	64種	353点	両生類	1種	1点
鳥類	80種	300点	魚類	0種	0点
爬虫類	8種	26点	総計	153種	680点



最優秀賞

「友達」
大木 寿雄

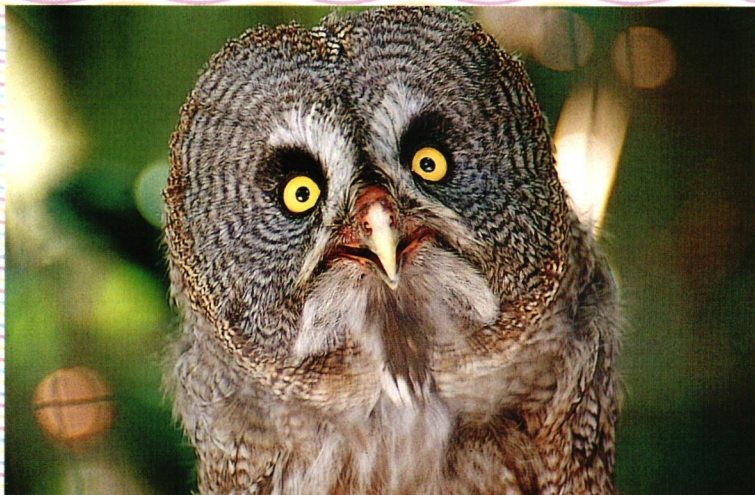


優秀賞

「おねだり」
小前 清子

特選

「お屋ね」
関口 昌明



特選

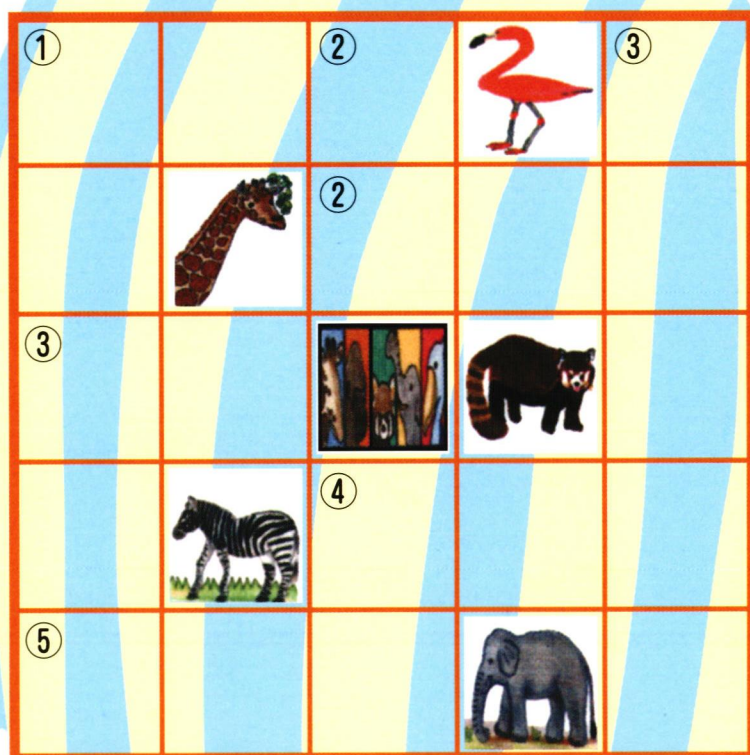
「ハイイ」
吉江 泰治



優秀賞

「立ち姿」
澤野 浩

最優秀・特選・優秀賞
作品紹介



タテのカギ

1. 森林や草地に住み、アフリカなどにもいる動物園の人気者
2. 動物にはオスと〇〇がいます
3. 性格はおとなしく、神経質なニシ〇〇
〇〇〇ゴリラ
4. サンタクロースも乗っているトナカイは〇〇科の動物です

ヨコのカギ

1. 首の長い草食動物で動物公園には3頭いる〇〇〇キリン
2. すごくゆっくりな動きでオランダ語では道化者の〇〇〇ロリス
3. 細長くよく曲がる鼻を上手に使う〇〇ハナグマ
4. 動物公園のレッサーパンダは中国の〇〇〇省などに住んでいます
5. ヒツジの祖先のムフロンは〇〇〇の動物です

どろぼうクイズ

もんだい 1

ナマケモノは1週間のうち、何回ウンチをするのでしょうか？

- A. 1回～2回 B. 3回～4回 C. 5回～6回

もんだい 2

これはワオキツネザルの行動パターンを写した写真です。一体何をしているのでしょうか？

- A. 自分の縄張りを主張している。
B. 日光浴をしている。
C. エサが欲しいと飼育係におねだりしている。



もんだい 3

当園のゴリラの食べ物の中で間違いはどれでしょうか？○か×をつけましょう。

たべもののなまえ	○・×	たべもののなまえ	○・×	たべもののなまえ	○・×
小松菜（こまつな）		イモ		セロリ	
キャベツ		ニンジン		落花生	
オレンジ		ヨーグルト		さかな	
おにぎり		タマネギ		肉	
バナナ		リンゴ			

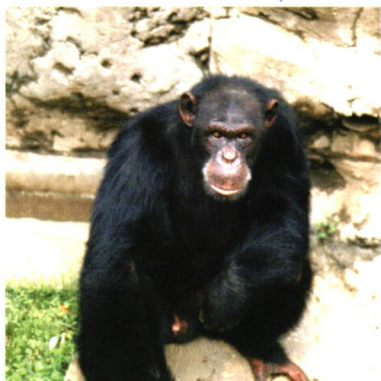
もんだい 4

夢を食べるといわれている動物は次のうちどれでしょうか？

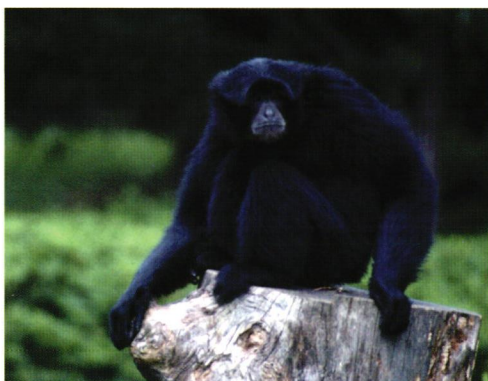
- A. マレーバク B. ダチョウ C. レッサーパンダ

もんだい 5

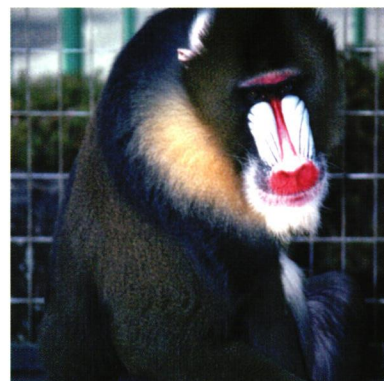
次の写真の中でフクロテナガザルはどれでしょうか？



A



B



C



動物公園の植物…②①

The plants the Zoological park

ヤマボウシ〔山法師〕(Cornus kousa)



ヤマボウシは、ミズキ科ミズキ属の落葉小高木～高木で高さ5～10mになります。

別名はヤマグワといい、分布は本州・四国・九州・朝鮮・中国・台湾などの山野に生えています。

ヤマボウシの語源は、白い花（総ぼう片）の中央にまるく集まる頭状花序を法師の坊主頭に見たて、総ぼう片を頭巾にたとえてつけた名前といいます。

特長は、樹皮は暗朱紅色で、成木になると木皮のはがれるのが目立つようになる。葉の形は卵状だ円形で対生し、葉の長さは4～12cmで、先はとがり全縁で、葉の縁は波打つ。

6月～7月に小さな花が20～30個集まった球形の頭状花序をつくり、白い花弁のように見えるのは、4個の総ぼう片で、長さ3～6cmで、果実は肉質の集合果で、直径1～1.5cmの球形をしており、10月頃に赤く熟し、食べられます。

好む土壌は、石灰質壤土であり、特性としては、耐煙・耐質・耐寒に対して抵抗力があります。

また、白い花弁のように見える総ぼう片が淡紅色の品種をベニヤマボウシといいます。

ヤマボウシは春から夏の花、秋の紅葉も美しく、春・夏・秋と来園者の目を楽しませてくれます。

動物公園では、園内に約30本のヤマボウシを植栽しておりますので、探してみたいかがでしょう。

用途は、庭木・器具・下駄材などに使用されます。

岡澤 薫 (Kaoru Okazawa)



飼育管理センターから

ヨタロウとキンポウゲ

モンキーゾーンのサル比較舎A棟には、現在、マンドリルがオスとメスが1頭ずつ、2部屋に分かれて飼育されています。

メスは名前がキンポウゲ、昭和60年にドイツの動物園より別のオスと一緒に動物公園に来て、オスとの仲は良かったのですが、一緒にいたオスは平成8年12月に病気で急死してしまいました。

その後、平成10年に豊橋動物園から婿入りしたオスは、名前がヨタロウ、平成6年生まれの7才、マンドリルは5才ぐらいで大人になるので、もう立派な青年です。

ヨタロウは動物病院で検疫が終わってから、サル比較舎へ移動して、鉄のゲージに入って、キンポウゲと3日間、お見合いをしました。

そして4日目にキンポウゲと同じ部屋へ入れてみました。ヨタロウは豊橋の動物園では両親と兄弟2頭の計5頭の家族で平和に暮らしていました。キンポウゲはちょっと太めのおばさんですが、同じマンドリルです。仲良くなろうと寄っていいました。しかし、母親や兄弟とは違ってキンポウゲは、いきなり咬みついてきました。「エッ」と思いました。何度、近くへいっても咬まれます。恐くなったので、少し距離をおいて過ごすことにしました。

しかし、精神的に参ったのでしょうか。1カ月ぐらいしてから自分の毛をむしるようになりました。そしてその後、キンポウゲとは別の部屋へ移動しましたが、現在でも時々毛を抜き、体のどこかが脱毛しています。

10月31日に新しいマンドリルのメスが、浜松市動物園からやって来ました。名前はモモ、平成10年生まれの3才でまだ子供です。検疫が終わってからヨタロウと一緒にする予定です。

ヨタロウの心の病は癒されるでしょうか？

中村 誠 (Makoto Nakamura)

クイズの

正解!

① ア	ミ	② ×	③ ロ
ジ	④ ス	ロ	ー
⑤ ア	カ	⑥ ラ	⑦ シ
⑧ ヲ	⑨ シ	⑩ セ	⑪ ン
⑫ ウ	⑬ シ	⑭ カ	⑮ ド

もんだい 1

A

もんだい 2

B

もんだい 3

魚とお肉は×
それ以外は○

もんだい 4

A

もんだい 5

B



動物公園日誌から

From Zoological Park Diary

’01年9月1日～’01年11月30日

- 9月1日 獣医実習生（麻生獣医大）1名 ～11日まで
 9月3日 レッサーパンダ フィラリア予防薬投与
 9月4日 グレービーシマウマ（雌1）難産により死亡
 クロミミマーモセット 2頭 繁殖
 9月8日 テンジクネズミ 3頭 繁殖
 ヘビクイワシ 採卵 フ卵器へ
 9月11日 ペルシュロン 伝貧検査のため採血実施
 9月13日 シロガオマーモセット（雄1）脾臓腫瘍により死亡
 9月18日 緊急保護受け中のオオタカ（2羽）県自然保護課（依頼先）へ移動
 9月19日 中学生職場訪問あり
 9月21日 飼育実習生（川原学園）1名 ～11月5日まで
 9月22日 ヘビクイワシ（1羽）多臓器不全にて死亡
 9月24日 江戸川区自然動物園よりプレーリードッグ5頭
 寄贈にて新着
 9月29日 ハワイガン（1羽）死亡
 9月30日 「ワンポイントウォッチング」開催（シロエリハゲワシ）
 （講師 飼育課 伴野）
 10月1日 ホオジロカンムリツル 5羽 草原ゾーンにて展示開始
 10月2日 カビバラ（雄1、雌1）、ロバ（雌1） 購入にて新着



- 10月3日 全国ソウ会議 飼育課 古谷出席（於：福岡）
 ミニブタ（雄1、雌1）、チンチラ（雄1、雌3） 購入にて新着
 10月4日 ウマ、ウシ、ガチョウ、アヒル 購入にて新着
 ココノオビアルマジロ 動物交換にて新着
 10月5日 ウシ、ミケリス 購入にて新着
 ソウガメ 子ども動物園リニューアルオープンに備え、
 新獣舎に移動
 10月12日 ミミナガヤギ、プラマ 子ども動物園リニューアルオープンに備え、新獣舎に移動
 アカハナグマ1頭繁殖
 10月14日 市内中学生（4名） 飼育体験実習（3日間）
 10月17日 東京都井ノ頭動物園よりニホンリス（雄1、雌1）
 寄贈にて新着
 10月19日 チンチラ、ミケリス 子ども動物園、新獣舎に移動
 10月20日 中国・天津市より視察あり
 10月22日 ムフロン 麻酔下にて角切除
 10月24日 ウマ、ロバ 削蹄実施
 種保存会議 飼育課 小林出席（於：下関）
 10月25日 子ども動物園リニューアルオープン（写真右上に）
 10月30日 トモエガモ（1羽） 心不全にて死亡
 10月31日 京都動物園よりアルダブラソウガメ（雄1、雌2）
 寄贈にて新着
 浜松市動物園よりマンドリル（雌2） 寄贈にて新着
 ショウガラゴ 1頭 繁殖



- 11月5日 ヤギ・ヒツジ 腰麻痺予防薬 注射
 11月6日 オセロット（雌1） 肝不全にて死亡
 11月7日 中学生職場訪問あり
 ペルシュロン（雌1） 老衰にて死亡
 11月8日 ニホンザル 破傷風注射
 11月9日 横浜市立金沢動物園よりオオカンガル（雌1）
 交換にて新着
 11月14日 子ども動物園へ新着 ソウガメ3頭 新獣舎への移動
 中学生職場訪問あり
 11月15日 東京都井ノ頭公園よりヒワコンゴウインコ（雌1）
 借受にて新着
 11月16日 ワオレムール 2頭 繁殖
 エミュー 産卵あり
 11月19日 ヤギ、ガチョウなどへの注意看板（手作り）設置
 11月21日 アフリカハゲコウ 防寒対策にて室内へ移動
 11月22日 フンボルトペンギン 巣穴取り合い闘争
 「ワンポイントウォッチング」開催
 （シロオリックス）（講師 飼育課 千葉）
 11月25日



- 11月26日 クロミミマーモセット（雌1） 動物交換にて新着
 シロガオマーモセット（雄1） 動物交換にて搬出
 牧野 辰男（Tatsuo Makino）

編集後記

今年もあと1ヶ月を残すところになり、道を行く人も心なしか急ぎ足で年末の雰囲気漂う今日この頃です。そんな町の雑踏を離れてゆっくりと動物公園で一日を過ごしてはいかがですか。少々、時期的には寒い季節とは思いますが、普段では気が付きにくい新しい発見があるかもしれませんよ。

それでは、皆様お体には十分気をつけて良いお年をお迎え下さい。

次回の発行予定は平成14年3月1日です。

尚、年末は28日(金)まで、年始は2日(水)から開園しております。

平木 利幸（Toshiyuki Hiraki）



アカハナグマ



Information

平成14年1月・2月・3月の 催し物一覧

- ★ 1 月 2 日❄・3 日☀ 新春お年玉抽選会
- ★ 1 月 13 日☀ バードウォッチング（手話の解説有り）
- ★ 3 月 21 日☀ クイズラリー（雨天の場合は 23 日☀）
- ★ 3 月 24 日☀ ワンポイントウォッチング(コンゴウインゴ)